

# ホウビシダ

*Asplenium hondoense* Murakami et Hatanaka

チャセンシダ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

生育地がごく稀で、個体数が少ない。(現況:RO)

## 形態

葉は長く這う根茎に疎らにつけ垂れ下がる。1回羽状複葉で革質、先に行くほど羽片が小さくなる。羽片には下側は半分を除いて鋸歯がある。葉柄や葉軸は黒紫色で光沢がある。葉柄の付け根のところに皮針形で縁に鋸歯のある暗褐色の鱗片をつける。孢子嚢群は葉脈上に線形に羽軸の縁と縁の中間に並び包膜がある。

## 国内分布

本州、四国、九州、対馬など。

## 県内分布

南加賀区。

## 生態など

常緑性の着生植物または半地中植物である。好陰湿潤地性、繁殖は根茎と孢子による。孢子は夏季に熟し始め、風で散布する。前葉体には造卵器、造精器ができず、無配生殖を行う。

## 生育環境

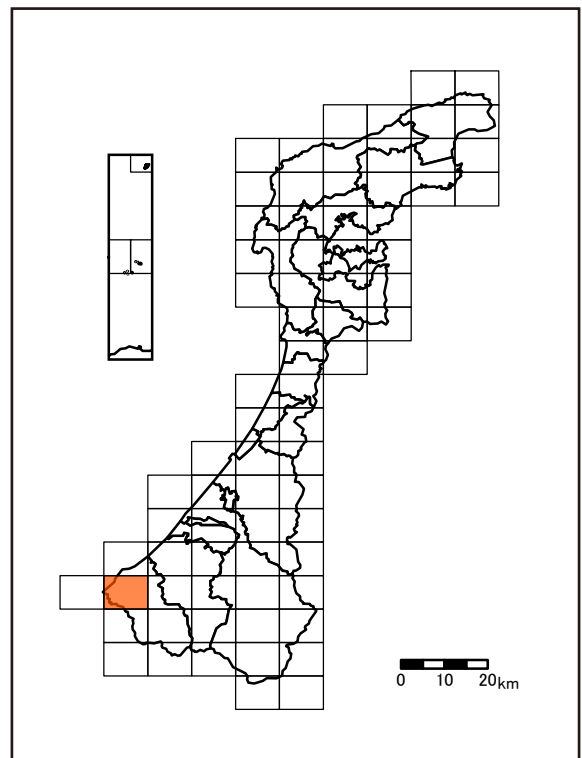
暖地では岩壁や石垣などに着生する。県内ではスギ林内の川筋の斜面に生育する。

## 危険要因

森林伐採、河川改修、自然遷移、産地局限。



林 二良・2008年12月14日・南加賀



県内の分布